

伝染性疾病（感染症）一覧 <登園許可書【必要】>

病名	初期症状・経過特徴	潜伏期間・感染経路	余病・その他	登園禁止期間	免疫・予防接種
インフルエンザ (流行性感冒)	鼻水・のどの痛み・せき等の症状から 39℃以上の高熱・頭痛・身体のだるさや、関節痛等の全身症状も強く、吐き気や嘔吐・下痢等の胃腸症状を伴う。	・1～2日 ・飛沫感染	気管支炎・肺炎・中耳炎などの細菌性の合併症を起こしやすい。	解熱後2日まで	任意予防接種 毎年10月くらいから
百日咳	風邪症状と区別できない。次第にせきが出たり声がかれてくる。発熱は少なく、せきは夜間に多く、だんだんと激しさを増す。3～4週間後、百日咳特有のせきとなり、顔面を赤くし、眼球が充血する。口をあげ、舌と涙と唾液が流れる。夜間はせきのために眠れないことが多く、体力の消耗が激しい。時にはチアノーゼけいれんを起こすこともある。	・6～20日(平均7日) ・飛沫感染(鼻・咽頭分泌物) →手→口	・免疫が伝わりにくい ・年齢が低いほど症状は重い ・伝染力は発病初期が最も強い ・0歳児でも罹患する	発病後2週間以上治療し、特有のせきが消失するまで	定期予防接種(DPT)
麻疹 (はしか)	発熱し、風邪の症状から、鼻汁・目の充血・目脂(めやに)がでる。耳のうしろ・顔・全身に紅色発疹がでる。発熱後3～4日して、両頬の内側に粟粒大の白い斑点がでる。(コプリック斑)発疹が消えた後、色素沈着がしばらく残る。	・10～12日 ・飛沫感染 →手→[口・気道]	気管支炎・肺炎・中耳炎を起こすことがある。時に脳炎を発症することもある。	主要症状が消失するまで	定期予防接種2回(MR) =1歳・就学前 終生免疫
風疹 (三日ばしか)	軽い発熱・赤い発疹が全身に出る。耳のうしろのリンパ腺が腫れる。悪寒・頭痛・目の充血を伴うこともある。	4～21日(平均16日) 飛沫感染(咽頭分泌物) →手→[口・気道]	妊娠4ヶ月までの妊婦が感染すると、目や耳の障害、心疾患、発達異常などの「先天性風疹症候群」にかかる可能性がある。ただし、風疹の可能性が再感染しても心配ない。	主要症状が消失するまで	任意予防接種(MR)
水痘 (みずぼうそう)	発熱と赤い発疹が全身に出る。発疹の先に水疱を形成し、かゆみを伴う。水疱が破れてかさぶたを形成し、水疱とかさぶたが混在する。	・11～21日 ・飛沫感染 (鼻・咽頭分泌物・水疱液) →手→口	・水痘脳炎・ライ症候群(痙攣・意識障害等) ・かゆみで細菌感染を起こしやすい	全発疹がかさぶたになるまで 発疹後7日	任意予防接種 終生免疫
咽頭結膜熱 (プール熱)	高熱・頭痛・咽頭痛で始まり、眼結膜炎を伴う。プールなどにより感染する。1週間の熱と下痢を伴うことがあり、顎下リンパ節が腫れることがある。のどが痛く、水分・食事摂取が困難となり、脱水をきたしやすい。	数日～1週間位 眼→飛沫→手→気道 プール→口	アデノウイルス3型が多い	主要症状がなくなり、2日後まで。治癒後もウイルスが便の中に1ヵ月排出するので、プールの指示による。	
流行性角結膜炎 (はやり目)	まぶたが腫れる。眼球は真っ赤に充血して涙が出る。めやにも出る。結膜炎の症状が急激に悪化する。後遺症として点状角膜炎を後遺症として残すことがある。	数時間～ 飛沫感染(めやに等分泌物)	眼科医の指示に従う。オスバン・イソジンでの手洗い。使用したものは煮沸消毒、衣服・おむつは次亜塩素酸で消毒する。集団感染を起こしやすい。	主要症状が消失するまで。治癒後も治癒後もウイルスが便の中に1ヵ月排出するので、プールの指示による。プールは医師の指示による。	
急性出血性結膜炎	眼内異物感眼痛・流涙・蓋目で急激に発病する。眼瞼腫脹し、結膜に浮腫を伴う眼球膜出血・耳前リンパ節腫脹が起こる。ほとんど両眼が冒されるが、5～7日で急に軽快。時により結膜出血が2～3週間とれないことがある。	1日	四肢麻痺などの神経障害を起こすこともあり、発病後2～4週間で起こる。	便・喀痰から20日位ウイルスを排出する。 プール注意。	
腸管出血性大腸菌 感染症 (O-157)	腹痛・大量の新鮮血または水様の下痢 嘔吐・発熱・脱水	便・汚染された食品・水などによる経口感染	溶血性尿毒症症候群を併発することがある。乳幼児は重症化しやすく、死亡例もある。	伝染の恐れがなくなるまで	
ウイルス性肝炎	急性肝炎：黄疸が現れる前に、まず発熱・全身倦怠感・頭痛など風邪のような症状が見られ、風邪と勘違いされる場合もよくある。 慢性肝炎：症状が顕著でないことが多い。 食欲不振・疲れ・上腹部の不快感程度の軽い症状の場合も多く自覚症状がまったくない場合もある。 *どの型の肝炎でも症状は大体同じ ・全身倦怠感　・腹部膨満感　・軽い腹痛がある(右脇部痛など) ・熱が持続する　・吐き気、嘔吐　・皮膚がかゆい ・食欲不振　・クモ状血管	A型：経口感染 B型：血液感染 母子間の垂直感染 家族や異性間の水平感染 C型：血液感染	A型：急性肝炎で、最も症状が著しく時に劇症肝炎となる。 慢性化はせず予後は良好 B型：劇症肝炎、慢性肝炎、肝硬変肝がんに進行するケースもある。 C型：多くは慢性化し、肝硬変、肝がんに進行するケースが多い。 症状が出ないケースも多い。	医師の指示による	A型：HAワクチン B型：HBワクチン C型：なし
溶連菌感染症	咽頭炎や扁桃炎などのような、のどの風邪症状を示す。39℃以上の急な発熱や赤く細かな発疹が首・胸・手首・足首から全身に広がる。口周囲には発疹はないが、舌が赤く「いちご舌」になる。	・1～7日(平均3日) ・飛沫感染(咽頭分泌物) →手→口→気道	治癒後2～3週間後、腎炎・リウマチ熱などになることがある。症状が消失しても医師の指示に従い、受診や内服を行う。	主要症状が消失するまで *登園許可書が必要	1度罹患するとかかりやすくなる